

# 第11回 顎口腔機能セミナー 開催要項

【主催】 日本顎口腔機能学会

【主管】 校長 山口 泰彦（日本顎口腔機能学会・会長，北海道大学）

セミナー企画委員長 増田裕次

（顎口腔機能セミナー企画担当理事，松本歯科大学）

【会期】

2019年8月17日（土）～ 19日（月）

（2泊3日）

開始日時：8月17日（土）14時30分

終了日時：8月19日（月）12時00分

【テーマ】 「社会に貢献する口腔機能研究を楽しもう！」

【会場】 ビレッジ安曇野

〒399-8201 長野県安曇野市豊科南穂高 6780

TEL：0263(72)8568 URL：<http://villageadumino.freebook.jp/c553.html>

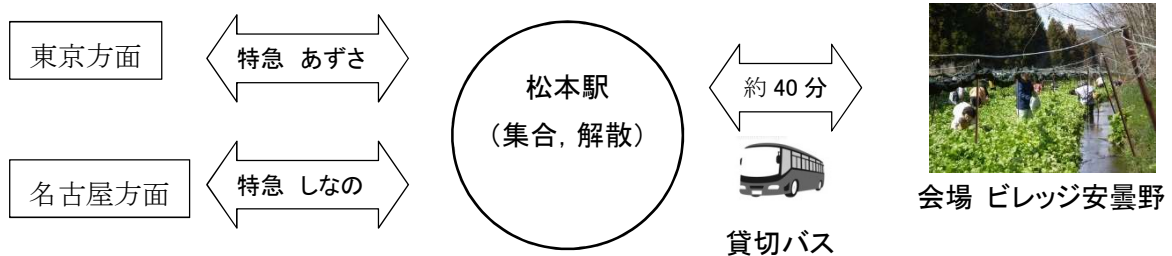
【参加費】 10,000円 【宿泊費】 12,000円 【懇親会・食費】 6,000円

【連絡先】 第11回 顎口腔機能セミナー企画委員会

松本歯科大学 総合歯科医学研究所 顎口腔機能制御学部門

[jssfseminar2019@yahoo.co.jp](mailto:jssfseminar2019@yahoo.co.jp)

【交通】 松本駅集合 17日（土）13:00 松本駅解散 19日（月）13:00頃



【申し込み方法】 本ホームページに掲載の申込用紙に、必要事項を記入の上、メールに添付して申し込んでください。

【申し込み期間】 2019年6月14日（金）まで。

## 座学 (①～⑥)

### ① 研究の着想 (なぜ機能研究をするのか?) 「歯科と顎口腔機能」

広島大学 津賀 一弘先生

### ② 仮説の検証と実験目的 (何を知りたいのか?) 「機能発達からみた顎口腔機能」

鹿児島大学 山崎 要一先生

### ③ 研究方法の選択 (何を記録・測定するのか?) 「加齢 (高齢者) からみた顎口腔機能」

東北大学 服部 佳功先生

### ④ 結果から見えるもの (何がわかったと言えるのか?) 「睡眠と顎口腔機能」

大阪大学 加藤 隆史先生

### ⑤ 研究の連続性 (次のステップをどう考えるのか?) 「筋活動からみた顎口腔機能」

愛知学院大学 平場 勝成先生

### ⑥ 社会貢献 (社会に役立つために何をするのか?) 「機能研究から保険収載」

日本歯科大学 志賀 博先生

## ワークショップ (グループ①～⑥)

### ① 「作業環境の違いによる咀嚼筋・肩甲帯筋への影響」

講師：徳島大学 鈴木 善貴先生

アドバイザー：徳島大学 大倉一夫先生、高崎健康福祉大学 富田洋介先生

概要：猫背のような前傾姿勢が噛みしめ習癖や肩甲帯筋の緊張（肩こり）を惹起している可能性がある。パソコン作業の環境条件を変えることによる咀嚼筋・肩甲帯筋への影響について筋電計や筋赤外線分光法（NIRS）を用いて検証いきたい。

### ② 「基礎と臨床から考える嚥下運動記録 - 明日からあなたもエキスパート -」

講師：新潟大学 真柄 仁先生

アドバイザー：新潟大学 井上 誠先生、辻村 恭憲先生

概要：嚥下運動の定量化に筋電図記録がある。その基本的な記録方法および解析方法を習得し、また、嚥下運動を変調させる感覚刺激の効果を検証し、摂食嚥下過程における口腔感覚入力的基础・臨床的意義を考察する。

③「スマートフォンとウェアラブルデバイスを用いた咀嚼回数計測」

講師：新潟大学 堀 一浩先生

概要：食生活の変化によって咀嚼回数が減っており全身の健康に関係する可能性が指摘されているが、咀嚼行動を実効的にモニタするツールがないためにエビデンスを持った根拠が不足している。本検討では、スマートフォンとウェアラブルデバイスを組み合わせたシステムにより、普段の食事における食行動をモニタする手法を体験する。

④「舌根部は昼夜どれくらい挙上運動をしているか？」

講師：岡山大学 萬田 陽介先生

アドバイザー：岡山大学 皆木 省吾先生

概要：昼夜における舌根部等の筋電図測定を行い、その活動様式および周囲筋とのコーディネーションについて考察する。筋電図測定の基本手技、解析方法の学習を通して、探索的研究から新たな知見を得る過程を経験する。

⑤「舌力発揮特性の3次元測定は口腔機能評価の新たな指標となりうるか？」

講師：岩手大学 佐々木 誠先生

アドバイザー：東北大学 佐々木 啓一先生、岩手医科大学 玉田 泰嗣先生

概要：舌は、咀嚼・摂食嚥下・構音において重要な役割を担っている。本WSでは、岩手大学が新規開発した3次元舌力測定装置を用いて、前方、上下、左右方向に発揮可能な舌力の大きさと、目標値に対する力の調整能力を測定し、口腔機能評価への応用可能性を探求する。

⑥「舌の体性感覚における冷温刺激の影響」

講師：大阪歯科大学 島田 明子先生、日本大学松戸歯学部 飯田 崇先生

アドバイザー：日本大学松戸歯学部 小見山 道 先生

概要：カプサイシンとメントールを用いた舌痛症実験モデルにおける舌の体性感覚の測定を定量的感覚検査（QST: Quantitative sensory test）にて行い、触覚閾値、フィラメント刺激痛閾値、圧痛閾値、最大圧痛受領閾値などの評価方法を習得する。

## プログラム (案)

### 8月17日 (土)

13:00	JR 松本駅集合
14:00~	参加者受付
14:30~14:45	開校式、ガイダンス
14:45~15:25	座学①広島大学 津賀 一弘先生
15:25~15:55	実習内容要旨全体説明 (各WS講師5分×6グループ)
	休憩 (部屋割り、移動)
16:15~17:15	各グループ説明、実習開始
17:30~18:20	アイスブレイク
18:30~21:00	夕食・懇親会 (バーベキュー)
21:00~	二次会 (実習予備など)
~23:00	入浴

### 8月18日 (日)

6:00~ 8:30	入浴
7:30~ 8:30	朝食
9:00~ 9:40	座学②鹿児島大学 山崎 要一先生
9:40~ 10:20	座学③東北大学 服部 佳功先生
10:30~12:00	実習
12:00~13:00	昼食
13:00~17:20	実習
17:30~18:10	座学④大阪大学 加藤 隆史先生
18:10~18:50	座学⑤愛知学院大学 平場 勝成先生
19:00~20:00	夕食
20:00~	実習 (発表準備など)
~23:00	入浴

### 8月19日 (月)

6:00~ 8:30	入浴
7:30~ 8:30	朝食
9:00~ 9:30	座学⑥日本歯科大学 志賀 博先生
9:40~11:40	成果発表 (15分×6グループ)
11:40~12:00	修了式 (松本駅解散 13:00頃)